

ユーモアスピーチコンテスト審査基準

内容 (55%)

スピーチの展開とは、聞き手が理解できるように、話し手が複数のアイデアを構成するやり方のことです。スピーチはその目的に沿って構成され、またその構成は、始まり、メイン、結びを含まなければなりません。良いスピーチは、始まってすぐに聞き手の注意を惹きつけ、明確な結びへと引っ張っていきます。スピーチの構成は、適切な例や描写、事実、数字によって支えられます。よどみない話し方によって、それらはスピーチの骨組みにうまく溶け込み、一体化されたものとして聞き手に伝えられます。

スピーチの効果とは、聞き手の受け止め方で測ることができるとも言えますが、大部分はスピーチがどのように伝わったかという審査員の主観的な判断で測ることができると言えます。次のような質問を自分自身に問いかけてみてください。「私は、話し手が何をしたいか分かっただろうか?」「このスピーチは、話し手の目的に直接結びついていただろうか?」「話し手は、聞き手の興味を惹きつけ続けただろうか?」「スピーチの題材は、今日の聞き手に適切だっただろうか?」

スピーチの価値とは、そのスピーチを行うに値するかを決めるものです。話し手は、聞き手に対して意味のある独自のものを語らなければなりません。聞き手が、話し手から面白い話を聞いたと感じなければなりません。アイデアは、たとえそれが面白おかしく発表されたとしても、大切なものでなければなりません。

聞き手の応答とは、スピーチに対する聞き手の反応を示します。スピーチは聞き手の興味を惹きつけ続けたでしょうか?聞き手はユーモアを理解し笑ったでしょうか?

伝え方 (30%)

身体表現とは、効果的なコミュニケーションのために一定の役割を担っています。話し手の容姿・外見・見た目は、そのスピーチが深いもの、悲しいもの、ユーモラスなもの、何かを教えるもののいずれにおいても、スピーチを強化します。体による表現は、身振り、顔の表情、舞台上の立ち位置を通して、スピーチを一層効果的にします。あらかじめ定められたスピーキングエリアの中から出ない範囲での立ち位置の工夫を行います。

声は、話し手の意図を伝える音です。声は柔軟で、表現を強調するために、ある高さから別の高さに自在に移り、様々なスピードや音量を持っていることが大切です。はっきりと聞こえ、言葉が容易に理解できるのが良い声です。

態度とは、スピーチが語られる中で出てくる話し手の本来の姿を間接的に表しています。話し手は熱意と確信をもって、聞き手に対する関心や、聞き手の反応に対するの自信を見せながら話をするのが大切です。

言語 (15%)

言語の適切さとは、スピーチの目的やスピーチを聞いている聞き手によく合った言葉を選んでいるかどうかということです。言語は、考えを明確に理解することを促し、その場に正確に沿うことが大切です。

言語の正確さとは、話し手がどう語ったかではなく、何を語ったかについて、聞き手の注意を向けるために大切な役割を果たします。適切な文法の使用と正確な発音は、話し手が自らが使う言葉に熟達していることを示します。

審査委員倫理規定

1. 審査委員は、コンテスト出場者の1位、2位、3位を選ぶ際に、いかなる偏見や先入観の影響も受けないように意識しなければなりません。どのコンテスト出場者についても、所属クラブ、エリア、ディビジョン、ディストリクトを考慮してはなりません。出場者の年齢、性別、人種、信条、出身国、職業、あるいは政治信念も考慮してはなりません。最大限の客観性が求められます。
2. 審査委員は、コンテスト出場者のスピーチの時間を測定しないものとします。審査を行なう際には、スピーチが時間不足あるいは時間超過となり得る可能性を考慮しません。
3. 審査委員の言動は、コンテスト規則と審査基準に従わなければなりません。コンテストを公に批判してはならず、得点、順位の公表はコンテスト運営方針に従った方法でのみ行なうものとします

(英語版 2011 年 3 月改定 邦訳 2014 年 8 月改定)